

令和5年度障がい者・児童相談支援センター並びに
地域活動支援センター星雲運営報告

◇障がい者・児童相談支援センター

○ 所在地

〒022-0003 大船渡市盛町字東町 11 番地 12

TEL 0192-21-1305・27-6990・27-0833 FAX 21-1307

○ 概要

面積 166.46 m² 事務室、多目的ホール、相談室、静養コーナー、トイレ（男・女・身障用）

○ 目的

障がい当事者本人の支援のみならず、家族あるいは親子関係に大きな課題や問題を抱えたケース、精神に病を抱える児童の増加に対応するため、情報の共有と連携した対応が可能となる相談支援窓口を一本化し、支援の充実・強化と地域福祉向上に資することを目的とする。

○ 事業内容

・地域活動支援センター星雲相談室

（相談支援事業・地域生活支援広域調整会議等事業・高次脳機能障がい者支援普及事業）

・気仙障がい者就業・生活支援センター（障害者就業・生活支援センター事業）

・児童家庭支援センター大洋サテライト

◇地域活動支援センター星雲

○ 所在地

〒022-0003 大船渡市盛町字町 6 番地 10

TEL 0192-27-6990・0192-21-1305/FAX 0192-22-9955

○ 概要

面積 106.08 m² 多目的ホール、交流コーナー、事務室、トイレ（男・女・身障用）

○ 目的

地域で生活する障がい当事者が、創作活動や生産活動の機会を通して自立した日常生活を営めるよう支援を行うとともに、地域交流活動を通して住民への啓蒙活動を行い、障がい当事者の社会参加と自立の促進を図る事を目的とする。

○ 事業内容

地域活動支援センター星雲（地域活動支援センター I 型事業）

《沿革》

平成14年 4月 1日 地域生活支援センター星雲開所（猪川町藤澤病院2階）

平成17年 5月 9日 障害者自立支援農業システム構築モデル事業開始
（～平成19年3月終了）

平成17年 8月 1日 ふれあい市民活動支援事業開始（～平成19年3月終了）

平成18年10月 1日 地域活動支援センター事業開始

（精神障害者地域生活支援センター事業が、障害者自立支援法により新規事業に移行）

平成18年10月 1日 相談支援事業開始（気仙2市1町より委託事業）

平成19年 8月 1日 岩手県精神障害者退院促進支援事業開始（岩手県より委託）

- 平成19年 8月 1日 退院支援に関する理解促進のための基礎研修（岩手県より委託）
- 平成20年 3月25日 センター移転（盛町東町へ）
- 平成20年 4月 1日 精神障がい者地域移行支援特別対策事業（岩手県より委託）
- 平成20年 6月 1日 障害者の地域移行支援に関する基礎研修事業（岩手県より委託）
- 平成20年10月 1日 障がい者委託訓練受託機関開拓事業（岩手県より委託）
- 平成21年 4月 1日 障がい者就業支援センター事業（岩手県より委託）
- 平成22年 4月 1日 地域活動支援センター星雲（日中活動支援部門）を移転（気仙障がい者支援センター1階へ）
障がい者・児童相談支援センター開所
- 平成22年 4月 1日 障害者就業・生活支援センター事業（国・県より委託）
- 平成22年 9月 1日 地域活動支援センター星雲高田サテライト「まつぼっくり」開所
- 平成23年 3月11日 地域活動支援センター星雲高田サテライト「まつぼっくり」東日本大震災における大津波により流失
- 平成26年 7月 1日 地域生活支援広域調整会議等事業（岩手県より委託）
- 平成27年10月 1日 高次脳機能障がい者地域支援体制整備事業（岩手県より委託）
- 平成28年 9月 1日 高次脳機能障がい者支援普及事業（岩手県より委託）
- 平成29年 4月 1日 高次脳機能障がい支援普及事業 相談支援事業へ移行
- 平成31年 4月 1日 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業（岩手県より委託）

《組織図》

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">所 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">戸 羽 幸 枝</div>	地域活動支援センター星雲	
	指 導 員	田 中 あ ち 子
		大 田 加 奈 子
		紀 室 歌 奈 子
	地域活動支援センター星雲 相談室	
	相談支援専門員	田 村 将 和
		菅 野 大
		菅 野 利 恵 子
	菊 池 泰 史	
	相談支援員	佐 々 木 和 幸
	気仙障がい者就業・生活支援センター	
	主任就業支援ワーカー	黄 川 田 佳 苗
就業支援ワーカー	鈴 木 市 子	
生活支援員	赤 坂 祐 子	
就業支援員	菅 野 亨	

児童家庭支援センター大洋 サテライト	
心理療法士	大和田綾子

◆地域活動支援センター星雲（地域活動支援センターⅠ型事業）

《目的》

地域で生活する障がい者の方々が、創作活動や生産活動の機会を通して自立した日常生活を営めるよう支援を行うとともに、地域交流活動を通して住民への啓蒙活動を行い、障がい者の社会参加と自立の促進を図る事を目的とする。

《沿革》

平成18年10月 1日 事業開始（猪川町字下権現堂）

平成20年 3月25日 センター移転（盛町字東町）

平成22年 4月 1日 地域活動支援センター星雲（日中活動支援部門）を移転（盛町字町）

1. 事業の概要

(1) 営業日及び時間

月～土曜日の9：00～17：00、3名の指導員が事業に対応した。事業所内での創作・生産活動の機会、行事・作品展等を通し地域交流の機会を提供した。また、大船渡市以外の各市町（陸前高田市・住田町）に指導員が出向き、公共施設を活用し、定期的にサテライト（地域活動支援センター出張所）活動を行っていった。

(2) 定員

20名

(3) 活動内容

地域活動支援事業：創作・生産活動、交流活動等支援、関係機関等活動支援、広報活動
サテライト：・陸前高田市デイケア支援 サテライト：高田市コミュニティホール
・住田町デイケア支援 住田町保健福祉センター（第2・4金曜日）

2. 行事等活動報告（4月～3月）

月	日	行事名	月間利用実人数
4		各曜日ごと「お花見会」	148名
5			147名
6	21	防火避難訓練	145名
		災害想定／洪水・土砂災害	
	29	深大寺陶芸教室	
7			164名
8			140名
9	26	深大寺陶芸教室	138名
10		紅葉狩り	141名
11		気仙地区障がい者作品展（大船渡市開催） 11日（土）～12日（日）2日間 サン・リアショッピングセンター	155名

1 2		各曜日ごとに「クリスマス会」 各曜日ごとに陸前高田市博物館見学 「ロダンの考える人」	1 4 2名
	1 5	気仙大工左官伝承館「椿ゆべしづくり」	
1			1 4 5名
2	9 2 0	「いちご狩り」*せせらぎファームにて開催 世界の椿館見学	1 5 0名
3	9	「いちご狩り」*せせらぎファームにて開催	1 3 6名
<定例プログラム実施状況> 昼食会（月曜日）、華の会（火曜日）、希望の翼（土曜日）茶道教室（月1回）、ヨガ体験教室（年6回）、メンバーミーティング（月1回）			
関連活動支援		大船渡市デイケア支援（毎週木曜日）、陸前高田市デイケア支援（毎週水曜日）、住田町デイケア支援（第2、第4金曜日 月2回）、ボランティア受入れ：昼食会、創作活動等（月1回）	
広報活動		機関紙の発行	3回発行

3. ひきこもり相談支援事業

ア、ひきこもり家族の集い

大船渡保健所との協働で実施

開催日	8月29日	10月3日	1月23日	計
参加人数	7名	6名	6名	19名

イ、ひきこもり家族相談会

開催日	9月7日	11月14日	2月22日	計
参加人数	講師の都合により中止となる。	1名	1名	2名

※上記ひきこもり家族の集い実施日の午後に実施

ウ、居場所の提供（フリースペースめいと）

毎週金曜日に当事者等を対象としたフリースペースとして開放

4. 市町別フリースペースめいと利用状況報告（4月～3月）

大船渡市	高田市	住田町	その他	計
86名	53名	0名	3	142名

5. 市町別利用状況報告（4月～3月）

開所日数	大船渡市	陸前高田市	住田町	その他	計
292日	1,203名	427名	121名	15名	1,766名

6. 利用登録状況

大船渡市	陸前高田市	住田町	その他	計
57名	13名	11名	1名	82名

7. 研修会・諸会議出席実績

月	日	研修会・諸会議名	場 所	参加者名
7	11	慈愛福祉学園デイサービス 放課後デイ研修	同法人内	大田
8	3	第4回大船渡市障がい者福祉計画策定のためのワークショップ開催	市内	田中
	29	第1回ひきこもり家族のつどい	市内	田中・大田
9	8	慈愛福祉学園デイサービス 放課後デイ研修	同法人内	紀室
	11	こころの出前講座支援者向け研修会	市内	田中
	15、21、29	慈愛福祉学園デイサービス 放課後デイ研修	同法人内	紀室
10	3	第2回ひきこも家族のつどい	市内	大田
	6	令和5年度さんりく・こすもす研修会 演題「あるいてほしい 僕らを」	市内	田中・紀室
	23	内部研修 気仙就労・生活支援センター研修会	同施設内	田中・大田 紀室
12	2	内部研修 令和5年度虐待防止研修会	WEB	田中・大田 紀室
	15	グリーンケア・セミナー支援者向け研修会	市内	紀室
1	23	第3回ひきこも家族のつどい	市内	田中・大田
3	7	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築 推進事業研修会	市内	大田
	22	シルバー人材C・ナカポツC・ユニバーサル就労 支援C打ち合わせ	WEB	紀室

8. 防災状況

(1) 自衛消防隊

隊	分 担	担当職員	任 務
長	指 揮 者	田村	隊長を補佐し指示、命令の伝達にあたる
	情報収取伝達係	黄川田、田中	消防署及び関係機関への通報後、避難誘導協力
	避 難 誘 導 係	田中、大田	利用者の避難誘導にあたる
所 長	救 護 係	大田	避難誘導の補助と避難所での人員確認と応急手当を行う

(2) 災害訓練等実施実績

6月21日(水) <防災避難訓練>

大雨に伴い、大船渡広報により大雨・洪水警報発表、盛川の危険水位到達 避難勧告
発令、早急な非難が必要となったことを想定し行われる。

9. 苦情受付状況 0件

10. まとめ

令和5年度は、行事・プログラム活動の分散化や時間短縮など、コロナウイルス感染予防対策を徹底しつつ、生産・創作活動等が確保できるよう努めてきた。昨年度に引き続き、活動内

容の負担軽減や簡略化など、利用者の障がい特性や年齢層に配慮した新規活動の取り入れなど工夫しながら提供することが出来た。また、活動を通して、利用者の日常生活向上や地域交流の支援となる事業運営となった。

今年度については、利用人数が減ったものの、利用者から個別で相談等を受ける機会が多く、指導員が丁寧に傾聴や相談対応を行ってきた。それに伴い新規利用人数につながってきた。また、高次脳機能障がい者やその家族の活動支援、認知症予防に関する活動など、地域の各種課題に対応した事業運営を行ってきた。今後も、コロナウイルス感染予防の徹底しつつ、気仙圏域の各地域課題解決の一助になる事業展開を行っていききたい。

ひきこもり相談支援事業では、家族の集い、個別の家族相談会など、家族支援を中心とした事業を実施した。今年も例年同様に、家族が集まり、話せる場として貴重な機会として認識されている状況があり、次年度以降も継続開催を期待するお声が多かった。このような取り組みにおいては、当センター内の部門間の協働、大船渡保健所様をはじめとする、関係機関との良好なネットワークにより支えられている事業であると考え。大船渡市においては、ひきこもり状態にある方々への支援プラットフォームの設立に向けて事業展開も見込まれている状況もあり、より一層本事業の取り組みを推進し、気仙地域への地域貢献を行っていききたい。

◆障がい者相談支援事業

《目的》

障がい者（児）及びにその保護者や障がい者（児）等の介護を行う者などからの相談に応じ、必要な情報の提供の便宜を供用することや、権利擁護のために必要な支援を行うことにより、障がい者（児）等が自立（自律）した日常生活、社会生活を営むことができるようにすることを目的とする。

《沿革》

平成18年10月1日 事業開始

平成24年 4月1日 一般相談支援事業、特定相談支援事業・障害児相談支援事業開始

1. 事業の概要

(1) 営業日及び時間

月～金曜日の9：00から18：00、土曜日は9：00から17：00まで4名の相談支援専門員が事業に対応した。営業時間外であっても、各相談員が所持している携帯電話による電話相談も受け付けた。新規障がい福祉サービス利用者に対し、障害者総合支援法に基づくサービス等利用計画書の作成を行った。福祉サービス継続利用者についても、サービス等利用計画の更新を行った。また、入院患者等の地域移行・地域定着については、障害者総合支援法に基づく地域移行支援・地域定着支援のサービス利用につなげ、訪問、同行支援等を進めた。

(2) 対象者

気仙2市1町に在住の知的・精神・身体・発達障がい者及び障がい児、難病患者等を対象

(3) 事業内容

- ①障がい者相談支援事業（情報提供、サービス利用・権利擁護に必要な支援等）
- ②障がい者・児計画相談支援（サービス等利用計画作成、モニタリング）

- ③地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）
 ④気仙地域障がい者自立支援協議会事務局 ⑤医療的ケア児コーディネーター
 ⑥住宅入居等支援事業 ⑦成年後見制度利用支援事業
 ⑧その他の事業（大船渡市虐待防止センター事業・重度心身障がい児（者）等ピアサポート事業、精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業）

2. 障がい相談

[相談支援を利用している障がい者等の人数] (単位：人)

		実人員	身体 障害	重症心 身障害	知的 障害	精神 障害	発達 障害	高次脳 機能障害	その他
大船渡市	障がい者	274	60	1	115	102	10	4	4
	障がい児	34	6	1	18	0	17	0	4
	計	308	66	2	133	102	27	4	8
陸前高田市	障がい者	44	9	0	14	21	2	1	2
	障がい児	7	0	3	0	0	4	0	0
	計	51	9	3	14	21	6	1	2
住田町	障がい者	18	3	0	6	6	3	0	1
	障がい児	3	0	1	1	0	2	0	3
	計	21	3	1	7	6	5	0	4
その他	障がい者	8	2	0	4	1	0	1	0
	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	8	2	0	4	1	0	1	0
合 計	障がい者	344	74	1	139	130	15	6	7
	障がい児	44	6	4	19	0	23	0	7
	計	388	80	5	158	130	38	6	14

[支援方法] (単位：件)

	訪問 相談	来所 相談	同行 支援	電話 相談	メール	オン ライン	支援 会議	関係 機関	その 他	合 計
大船渡市	675	238	126	869	139	7	46	976	14	3,090
(再掲) オンライン							6	4		
陸前高田市	70	14	5	138	10	1	14	90	0	342
(再掲) オンライン							1	0		
住田町	55	11	27	92	31	0	5	158	1	380
(再掲) オンライン							0	0		
その他	16	3	5	27	4	0	3	50	0	108
(再掲) オンライン							0	0		
合 計	816	266	163	1,126	184	8	68	1,274	15	3,920

[支援内容]

(単位：件)

	大船渡市		陸前高田市		住田町		その他		計	
	件数	ピアカ ウンセ ラー (再掲)	件数	ピアカ ウンセ ラー (再掲)	件数	ピアカ ウンセ ラー (再掲)	件数	ピアカ ウンセ ラー (再掲)	件数	ピアカ ウンセ ラー (再掲)
福祉サービスの利用等に関する支援	1,897	0	195	0	201	0	86	0	2,379	0
障害や病状の理解に関する支援	74	0	5	0	6	0	12	0	97	0
健康・医療に関する支援	317	0	4	0	55	0	1	0	377	0
不安の解消・情緒安定に関する支援	158	0	77	0	21	0	0	0	256	0
保育・教育に関する支援	24	0	12	0	2	0	0	0	38	0
家族関係・人間関係に関する支援	193	0	8	0	16	0	6	0	223	0
家計・経済に関する支援	123	0	14	0	31	0	1	0	169	0
生活技術に関する支援	66	0	6	0	15	0	0	0	87	0
就労に関する支援	82	0	11	0	4	0	0	0	97	0
社会参加・余暇活動に関する支援	17	0	2	0	7	0	1	0	27	0
権利擁護に関する支援	0	0	0	0	6	0	0	0	6	0
その他	139	0	8	0	16	0	1	0	164	0
合計	3,090	0	342	0	380	0	108	0	3,920	0

3. 研修会・会議等の参加状況

月	日	研修会名	場所	参加者名
5	11	令和5年度子どもの発達支援講演会	WEB	菅野(利) 田村
	25	精神保健福祉法改正／精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに係る担当者向け説明会	WEB	菅野(大) 田村
6	9	大船渡地域苦情解決情報交換会(基礎研修)	市内	田村
	24	令和5年度第1回 ICCC 勉強会	WEB	菅野(利) 田村

7	1～2	全国児童発達支援協議会 全国職員研修	WEB	菅野 (利)
8	26	第 19 回自閉症初級セミナー	北上市	田村
9	9～10	チイクラフォーラム 8	WEB	佐々木 菅野 (大)
	11	ひきこもりの理解促進と支援力向上のための研修会	WEB	田村
	28	2023 年度精神保健福祉援助実習指導者連絡協議会	WEB	田村
10	2	気仙沼市放課後等デイサービス事業連絡協議会研修会	気仙沼市	菅野 (利)
	14	2023 年度第 1 回実習指導者フォローアップ研修会	WEB	田村
11	23～24	令和 5 年度岩手県障害者ピアサポート研修	盛岡市	佐々木 菅野 (大)
	28	宮古ピアカウンセリング	宮古市	佐々木
12	21～22	令和 5 年度岩手県障害者ピアサポート研修	盛岡市	佐々木 菅野 (大)
2	1～2	令和 5 年度重層的支援体制の構築に向けた人材育成事業「地域づくり実践研修」	WEB 盛岡市	田村
	5	令和 5 年度家族リフレッシュ交流研修会	八幡平市	菅野 (大)
	随 時	二市一町連絡会議・ケア会議・陸前高田市障害福祉施策推進協議会等		

4. まとめ

令和 5 年度の「相談支援を利用している障がい者等の人数（実人員）」は 388 名（過去最多）、総相談件数は 3,920 件であった。障がい種別で見ると、「精神障がい」や「発達障がい」がともに過去最多となっており、障害者手帳の重複所持者も年々増えてきている。支援方法としては、「関係機関との調整」が 1,274 件と最も多く、全体の 32%を占めた。今年度の特徴として、「電子メール」が 117 件増えて 184 件となったが、これは、対象者の“相談の仕方”が多様化していることを示しており、返信の際には文章として残ることに留意しながら対応した。支援内容としては、「福祉サービスの利用等に関する支援」が依然として多く、就労継続支援（B 型）の調整が大半を占めた。一方で、表からは汲み取りにくい新規の相談内容を分析すると、関係機関から“福祉サービスの利用調整が必要”として繋がってきても、見学や体験、打ち合わせ段階で本人の意向と合わずに途絶えてしまうものも散見されている。こうした事例の多くは、周囲の困り感が強い傾向にあったり、支援対象者が自身の障がい（病状）に気づいていなかったりするため、時間を掛けて対応しながら、介入時期を見極めることが必要であった。

昨今では、発達障がいや高次脳機能障がい、医療的ケアを必要とする方々への専門的な相談対応が求められているため、日々の業務の中ではこれまで以上により高い専門性を発揮し、圏域の相談支援機関や行政との更なる連携強化に努めた事業運営を続けていきたい。

◆精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業

《目 的》

障がい保健福祉圏域における保健・医療・福祉関係者による協議の場を通じて、各関係機

関等の関係者間の顔の見える関係を構築し、地域の課題を共有化した上で、包括ケアシステムの構築に資する取組みを推進することを目的とする。

《沿革》

平成19年	8月	1日	事業開始
平成20年	4月	1日	事業名称変更（精神障害者地域移行支援特別対策事業へ変更）
平成24年	4月	1日	地域移行・地域定着支援個別給付化
平成26年	3月	31日	精神障害者地域移行支援特別対策事業終了
平成26年	7月	1日	広域調整会議等事業開始
平成30年	7月		これまでの広域調整会議等事業実績の評価を受け、岩手県より精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業の委託について協議の打診がある。
平成30年	10月	1日	現事業開始 広域調整会議等事業の業務委託終了

1. 事業の概要

(1) 事業内容

- ①構築推進サポーターの活用に係る事業
- ②ピアサポートの活用に係る事業
- ③入院中の精神障害者の地域生活支援に係る事業
- ④精神障がい者の地域移行・地域定着関係職員に対する研修に係る事業
- ⑤精神障害者の家族支援に係る事業

※事業内容は計14の事業メニューから選択し実施する。

(2) 事業構成機関

地域活動支援センター星雲相談室 県立大船渡病院 希望ヶ丘病院 大船渡保健福祉環境センター（大船渡保健所） 大船渡市地域福祉課 陸前高田市保健課・福祉課 住田町保健福祉課 チャレンジドまちかど相談室リンク 相談支援事業所さんさん 相談支援事業所きら星

2. 地域委員会開催状況

(1) 協議の場の整理に係る打合せ

開催月日：令和5年4月18日・令和6年1月24日

計2回開催

出席職員：菅野、田村、佐々木

協議内容：協議の場の構成員、開催方法、事務局運営等について

出席委員数：6名（延べ人数）

3. 地域移行支援・地域定着支援事業利用状況

事業対象者（令和5年4月～6年3月末迄の総計）

（単位：人）

	県立大船渡病院		希望ヶ丘病院		その他 [未来の風せいわ病院]		合計	
	移行	定着	移行	定着	移行	定着	移行	定着
大船渡市	0	0	0	0	1	0	1	0

陸前高田市	0	0	0	0	0	0	0	0
住田町	0	0	0	0	0	0	0	0
その他地域	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	1	0	1	0

4. 事業メニューごとの取り組み内容について

(1) 精神障がい者の地域移行関係職員に対する研修

開催月日：令和6年3月7日（木）

場 所：大船渡市民文化会館 リアスホール

内 容：「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業について」

講 師：山梨県立こころの発達総合支援センター 弘田 恭子 氏

公益財団法人復康会 鷹岡病院 水野 拓二 氏

参加者数：30名

(2) 精神障がい者家族教室の開催

目的：保健所や各市町と連携した、精神障がい当事者を抱える家族を対象とした家族教室の実施。

参加者数（延べ）32名（内訳 家族（延べ）13名 委員他（延べ）11名）

第1回：お薬について 令和5年9月13日（水）

場 所：大船渡市防災観光交流センター おおふなぼーと 会議室

講 師：気仙中央薬局 薬剤師 金野 良則 氏

第2回：当事者体験談 令和5年10月31日（火）

場 所：大船渡市防災観光交流センター おおふなぼーと 多目的室1・2

講 師：特定非営利活動法人 ココカラいわて

代表理事 上野 康隆 氏

庄子 ひろみ 氏

平賀 桃子 氏

第3回：今日からできるこころのセルフケア 令和5年11月22日（水）

場 所：大船渡市防災観光交流センター おおふなぼーと 会議室

講 師：岩手県立大船渡病院 公認心理士 佐々木 文 氏

※各回後半は日頃抱える悩みや本人との関わり方、悩み等について話し合うグループワークを実施した。

(3) 入院中の精神障害者の地域生活支援に係る事業

目的：精神科入院中の患者に対して退院への意欲向上、その他必要な支援の実施。（地域移行支援へつながるための面談、同行支援、ケア会議への参加、地域資源の情報提供の実施など）

内容：院内面談や同行支援、ケア会議等での地域資源等の情報提供など。院内のOTやプログラム活動への協力など。

※対象者1名に対して支援を実施。

圏域外の医療機関と退院に向けた支援調整等を実施。

(4) ピアサポートの活用に係る事業

① ピアカウンセリンググループ（あなたの会）、当事者グループ（おあしす・ばでい、ゆる

WRAP ワークショップ) の運営に係る協力や外部機関等の調整等の実施。

② WRAP (元気回復行動プラン) の普及に関する研修会等の実施、研修企画協力など。

③ リカバリー全国フォーラムへの参加 (W e b 視聴)。

(5) その他精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組み

①チイクラフォーラム8への参加

※にも包括構築に向けた、先駆的な実践事例等の学びの機会に参加。

②事務局による気仙管内関係機関での研修講師対応など。

・大船渡保健所：精神保健福祉担当者連絡会

③にも包括の構築に係る他圏域における事例発表・講師対応等、施設プログラム等への講師対応など。

・令和5年度精神障がい者地域移行・地域生活支援関係者研修 講師対応

・令和5年度岩手県障害者ピアサポート研修 専門研修 講師対応

・岩福連：家族リフレッシュ交流・研修会 講師対応

・宮古市：地域活動支援センターみやこ 講師対応)

5. まとめ

今年度より「保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置」が当センターから保健所主体に切り替わったことにより、気仙圏域に複数ある合議体の目的や役割の再確認と整理がなされるように取り組みを進めた。また、昨今の相談支援においては、専門性の高い相談の機能分化が進む中で、本事業の目的である「地域共生社会」の実現に向けて関係各所とともに“地域づくり”に励んでいる。

具体的な取り組みとして、精神障がい者家族教室においては、昨年度ご家族からの関心が高かった3つのテーマで企画し、好評をいただいた。「普及啓発に係る事業」については、本事業の概要とその本質を理解すべく、受託元である岩手県の広域アドバイザー2名を講師として招き、集合形式での研修会を開催した。新型コロナウイルスの流行以後、令和2年ぶりとなった1日開催であるが、他圏域の行政関係者を始めとした参加者もあり、それぞれが日頃の実践を振り返る機会となっている。

令和6年度は実施体制が整わないことから本事業を岩手県にお返しするが、これまで築いてきたネットワークを十分に活かしながら、通常の相談支援業務の中に位置づけた運営を行ってきたい。

◆高次脳機能障がい者支援普及事業

《目的》

気仙圏域において高次脳機能障がい者に対する相談支援、家族教室の実施、関係機関との連絡会やケース会議、高次脳機能障がいに関する研修会などを行い、高次脳機能障がいへの理解を深める機会を提供し、医療、福祉、行政等関係機関の連携により、高次脳機能障がい者に対する支援を行います。

《沿革》

平成27年10月1日 高次脳機能障がい者地域支援体制整備事業委託 (岩手県より委託)

平成28年 9月1日 高次脳機能障がい者支援普及事業委託 (岩手県より委託)

平成29年 4月1日 自主事業として継続

1. 事業の概要

(1) 事業内容

- ①連絡会の設置・運営 ②関係機関とのケース会議 ③圏域における相談支援の実施
- ④研修会への参加 ⑤事業研修会の実施 ⑥家族交流会の実施

(2) 事業構成機関

(行政等) 岩手県保健福祉部障がい保健福祉課、沿岸広域振興局保健福祉環境部大船渡保健福祉環境センター、大船渡市保健福祉部地域福祉課、大船渡市保健福祉部地域包括ケア推進室、陸前高田市福祉部保健課、陸前高田市地域包括支援センター、住田町保健福祉課、住田町地域包括支援センター

(病院等) いわてリハビリテーションセンター医療連携部総合相談科、岩手県立大船渡病院地域医療福祉連携室、希望ヶ丘病院、気仙地域リハビリテーション広域支援センター

(当事者団体) はまりやすぺゃ事務局

(福祉サービス事業所) 慈愛福祉学園デイサービスセンター、多機能型支援施設アップル、SOMPOケア大船渡

(教育機関) 岩手県立気仙光陵支援学校

(相談支援事業所) チャレンジドまちかど相談室リンク、相談支援事業所さんさん

(自立支援協議会) 就労部会、児童部会、相談部会、地域移行部会

(事務局) 地域活動支援センター星雲相談室

2. 事業活動状況

(1) 連絡会の開催

開催月日：令和5年9月7日

開催場所：大船渡地区合同庁舎

協議内容：事業報告説明、事業計画説明、ミニ研修等

出席者数：22名

(2) 関係機関とのケース会議

開催月日：令和5年6月14日、9月4日、11月16日、11月28日、
令和6年1月22日 計5回開催

開催場所：自宅、高寿園指定居宅介護支援事業所、県立大船渡病院、オンライン

会議内容：現況の共有と今後の方向性について

出席者数：23名（延べ人数）

(3) 気仙圏域における相談支援の実施

相談支援の実施状況（令和5年4月～令和6年3月までの実績）

新規ケースは2件。支援対象者への支援内容としては、各種制度や手続きにかかわる支援、復職及び求

職活動にかかわる支援、自動車運転再開に関わる支援、転居に関わる支援、各関係機関との連絡・調整、本人及びご家族に対する不安の軽減、サービス利用にかかわる計画相談など。今年度行った支援の総件数は141件となっており、内訳は以下の通り。

相談支援対象者：19名（昨年度からの継続対応及び新規利用者）

支援方法：訪問支援30件、来所相談25件、同行支援3件、電話等相談41件、

電子メール3件、個別支援会議5件、関係機関との連携33件、その他1件

(4) 会議、研修会への参加状況

月	日	研 修 会 名	場 所	参加者名
6	28	第1回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会	WEB	菅野 (利)
		第1回支援コーディネーター全国会議	WEB	菅野 (利)
8	10	第1回岩手県高次脳機能障がい者支援普及事業連絡協議会	WEB	菅野 (利)
11	6	圏域相談支援コーディネーター会議	盛岡市	菅野 (利)
		圏域相談支援コーディネーター研修会		
2	16	第2回高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会	WEB	菅野 (利)
		第2回支援コーディネーター全国会議・シンポジウム	WEB	菅野 (利)

(5) 事業研修会の実施状況

令和5年9月7日に実施した連絡会での情報共有内で実施

「脳卒中統計報告およびリハビリテーション業務概要」

講師：岩手県立大船渡病院地域医療福祉連携室 主査医療社会事業士 千葉孝治 氏
気仙地域リハビリテーション広域支援センター（岩手県立大船渡病院）

リハビリテーション技師長 菊池峰子 氏

(6) 家族交流会の実施状況

開催月日：令和5年8月26日、令和5年10月21日、令和6年1月21日

計3回開催

開催場所：地域活動支援センター星雲、大船渡市民体育館、福祉の里センター

内 容：ミニ壁飾り作り、ニュースポーツ、ヨガ体験、家族との語り合い、交流等

参加人数：27名（延べ人数）

3. まとめ

支援対象者への対応件数は平均12件/月（昨年度平均14件/月）となっており、若干減少した。対応件数の減少理由としては、年度当初に支援対象者を見直したことに加え、地域社会の中で繋がり先が広がるようにかかわってきたことが考えられる。

今年度も引き続き「家族とのかかわり」「居場所」「医療との連携」「就労支援」「移動」をテーマに事業運営を行った。コロナ感染者が増えた時期もあったが、感染症対策を徹底したことにより、家族交流会や連絡協議会は予定通り実施できている。

本事業の継続により、医療を始めとした関係機関との連携強化を図り、地域における相談支援体制の整備に努めてきた。令和6年度は実施体制が整わないことから事業休止とするが、多様化するニーズに合わせて複数の相談支援機関が包括的にかかわれるように調整機能を働かせ、通常の相談支援業務の中に位置づけた運営を行っていききたい。